

枚方で感動体験くらわんか！

大阪観光局等と連携しインバウンド向けツアー造成

◎写真あり

市は、大阪観光局（広域 DMO）と、くらわんか観光マネジメント（地域 DMO）等の観光関連団体と連携し、枚方宿や東部の自然など、枚方の魅力を体験できる 4 つのツアー商品を造成した。大阪・関西万博を契機とするインバウンドを含めた市への誘客に向けた「ひらかた万博」の一環として、いずれも英語・日本語対応可能なガイド付き。造成にあたっては、大阪観光局が持つ滞在者数等の観光統計データ等を分析しターゲットを設定した。ツアーは、大阪観光局が連携する旅行予約販売サイト「Deep Experience」で販売中。Google 検索広告や、旅行との相性がよく、ターゲット国で利用頻度の高い SNS 広告等でプロモーションを図る。市観光交流課の担当者は「大阪や京都に来る観光客を呼び込んで、枚方ならではの感動体験を提供できれば」と期待を込める。

- ★ 本市観光施策については、平成 29 年度に策定した「観光施策に関する考え方」で目指すべきものとして掲げた「市の魅力向上」「交流人口の増加」「経済活性化」の実現に向け、本市の魅力的な自然、歴史・文化、体験などの観光コンテンツをつなぎ合わせた「くらわんかツーリズム」を公民共創で実施している。
- ★ 「くらわんか」とは「食べませんか？」を意味する河内弁。江戸時代、淀川に行き交う三十石船が枚方あたりにやってくると、小舟をこぎ寄せ「酒・餅、くらわんか」と荒々しい言葉で売りつける「くらわんか舟」が名物だった。大阪と京都を行き交う観光客に枚方の魅力を満喫してほしいという枚方観光のキーワードとしている。
- ★ 一般社団法人くらわんか観光マネジメントは、令和 5 年 3 月 31 日付で観光庁の候補 DMO として登録されている本市唯一の観光まちづくり法人（DMO）。令和 6 年 9 月にオープンした枚方市観光案内所 Syuku56（シュクゴジュウロク）の運営を行っている。
- ★ 1 つ目のツアーは「枚方宿と味噌と淀川を楽しむ枚方サイクリングツアー」。昨年 9 月、市駅前にオープンした枚方市観光案内所 Syuku56 のレンタサイクルで、老舗味噌店や、意賀美神社、枚方宿鍵屋資料館、淀川河川公園を巡る。日本の歴史に興味を持つ傾向が強いといった分析から、台湾からの観光客を主なターゲットとしている。



- ★ 2つ目のツアーは「京都大阪を一望 枚方で自然と絶景に触れる国見山ハイキング」。JR 津田駅に集合し、国見山をハイキング、カフェもしくはステーキレストランでランチを楽しむ。自由や解放感を求める傾向が強いといった分析から、1つ目のツアーと同様に台湾からの観光客を主なターゲットとしている。



- ★ 3つ目のツアーは「枚方の里山で収穫体験、採れたて野菜の絶品和食ディナー付きツアー」。JR 長尾駅に集合し、市東部の穂谷の農園で季節の野菜を収穫、古民家を改装したレストランで和食ディナーを楽しむ。冒険心や新しい発見を求める傾向が強いといった分析からフィリピンからの観光客を主なターゲットとしている。



- ★ 4つ目のツアーは「ローカルでディープな夜を楽しむ、枚方ナイトツアー」。京阪枚方市駅に集合し、市駅近隣にある川原町のスナックやバーを2件～3件はしごする。ユニークな体験を求める傾向が強いといった分析から韓国からの観光客を主なターゲットとしている。



- ★ 旅行体験予約サイト「Deep Experience」(<https://www.deep-exp.com>)では、国内外の観光客が、日常では経験したことのないような魅力的なアクティビティ・ガイドツアー・食べ歩きツアーを簡単に検索・予約できる。英語・中国語・韓国語に対応しており、有名な観光スポットだけでなく、地元の人しか知らないディープな体験を提供している。



<お問い合わせ>

◆事業全体に関すること

枚方市 観光にぎわい部 観光交流課

電話：072-841-1357 FAX：072-841-1278 メール：sanbun@city.hirakata.osaka.jp

◆ツアーに関すること

枚方市観光案内所 Syuku56

電話：072-896-7555 FAX：072-896-7565 メール：syuku56@kurawanka-dmo.or.jp